

## ● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）1 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

### パカヤ (Pacaya) グアテマラ (図中 A) 標高 2,552m

1 月 9～10 日に爆発的噴火が発生した。11 日にはストロンボリ式噴火の活動が観測され、東、南、西山腹の新たな火口から溶岩流が 1.5km 流れた。21 日には、溶岩流は、南山腹で 3.6km まで流れた。グアテマラの国家災害対策調整委員会 (CONRED) によると、火口から北西 14km、南 2～2.5km、北西 5 km の町からの避難者が報告されている。

### シナブン (Sinabung) インドネシア (図中 B) 標高 2,460m

先月に引き続き、溶岩ドームの成長が継続し、溶岩ドームの崩壊による火砕流が頻発した。連続微動と火山性地震、溶岩ドームの成長を示唆するハイブリッド型地震の活動が活発な状態で継続した。火砕流は南～東方向に最大 5 km まで流下した。噴煙は、最大で 6 km まで上昇するのが観測された。

2 月 1 日（期間外）10 時 30 分には、大規模な溶岩ドームの崩壊が発生し、火砕流が南に 4.5km 流下した。この火砕流によって立入禁止区域（半径 5km 以内）に許可なく立ち入っていた 15 人が死亡し、2 人が負傷した。

警戒レベル（1～4 の 4 段階の指標）はレベル 4 が継続しており、訪問者や観光者は、火口から 5 km 以内への立ち入りが禁止されている。2 月 4 日現在、31,739 人（9,915 世帯）が避難している。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

